



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2013年10月30日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、11月11日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

## 2013年度第3四半期にパテントクリフの影響が終了

	2013年度 第3四半期	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)	2013年度 年初から 9カ月間	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)
純売上高	€8,432m	-6.7%	+0.6%	€24,494m	-7.3%	-2.8%
事業純利益 <sup>(1)</sup>	€1,789m	-18.7%	-8.9%	€4,877m	-25.6%	-19.1%
1株当たり事業純利益 <sup>(1)</sup>	€1.35	-19.2%	-9.0%	€3.68	-26.0%	-19.3%

当グループの業績をわかりやすく示すため、損益計算書について説明します。事業純利益<sup>(1)</sup>は、GAAP(一般会計原則)に調整を加えた財務指標です。2013年度年初から9カ月間の連結損益計算書については付録4に、事業純利益から連結純利益への調整については付録3に記載しています。2013年度年初から9カ月間の連結純利益は、前年同期の45億100万ユーロ<sup>(2)</sup>に対し、26億6,100万ユーロでした。2013年度年初から9カ月間の連結1株当たり利益は、前年同期の3.41ユーロ<sup>(2)</sup>に対し、2.01ユーロでした。

サノフィ最高経営責任者(CEO)のクリストファー・A・ヴィーバッハーは、グループの2013年度第3四半期業績について、「8月にパテントクリフの影響が終了し、第3四半期にサノフィは転換点を迎えました。その結果、9月には売上高の成長<sup>(3)</sup>が回復しました。米国における百日咳抗原を含むワクチンの10月半ばまでの不足、中国市場の鈍化、未だ回復期にあるブラジルのジェネリック医薬品事業にもかかわらず、第3四半期に成長基盤<sup>(4)</sup>は5.5%成長しました。成長基盤は現在、当社売上高の75%を占めています。研究開発では、引き続き大きな進展を達成し、欧州連合(EU)ではAubagio<sup>®</sup>とLemtrada<sup>™</sup>、米国では、OTC用のNasacort<sup>®</sup> Allergy 24HRと、NexGard<sup>™</sup>について承認を取得しました。また、alirocumabに関する初の第III相試験とFluzone<sup>®</sup> High-Doseに関する大規模試験について、肯定的な結果を発表しました」と述べています。

### 2013年度第3四半期の業績

- 総売上高<sup>(3)</sup>は5四半期ぶりに増加し、0.6%増の84億3,200万ユーロ
- 新興市場<sup>(5)</sup>の売上高は、中国の医薬品市場の低迷とブラジルのジェネリック医薬品の売上高減少の影響を受け、2.8%増の26億5,200万ユーロ
- 糖尿病領域の売上高は、20.1%増の16億7,000万ユーロ、Lantus<sup>®</sup>(ランタス)の売上高は、21.2%増の14億5,600万ユーロ
- ワクチンの売上高は、米国でのPentacel<sup>®</sup>およびAdacel<sup>®</sup>の供給不足と米国におけるインフルエンザワクチンの四半期ごとの段階的調整による影響を受け、7.2%減の13億ユーロ。サノフィは、差別化したワクチンの提供により、2013年度下半期に北半球で記録的なインフルエンザワクチンの売上高を計上できる見込み
- コンシューマー・ヘルスケア(CHC)の売上高は、主に米国でのRolaid<sup>®</sup>発売と中国でのCHC事業の改善を反映し、力強い成長を達成(9.8%増)
- ジェンザイムの売上高は、希少疾患フランチャイズの11.1%増とAubagio<sup>®</sup>の発売に牽引され、21.1%増の5億2,900万ユーロ
- 動物用医薬品の売上高は、Frontline<sup>®</sup>(フロントライン)の競合が激化したことを受け、6.4%減の4億5,800万ユーロ。9月に、米国食品医薬品局(FDA)より、イヌのノミやマダニの駆除・抑制薬としてNexGard<sup>™</sup>チュアブルの承認を取得
- 成長基盤<sup>(4)</sup>の売上高は、5.5%増の62億9,800万ユーロで、グループの総売上高に占める割合は74.7%
- 2013年度第3四半期の1株当たり事業純利益<sup>(1)</sup>は、9.0%減の1.35ユーロ

## サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー

[www.sanofi.co.jp](http://www.sanofi.co.jp)

## 研究開発の最新情報

- alirocumab に関する初の第 III 相試験と Fluzone® High-Dose に関する大規模試験について、最近、肯定的な結果を公表しました。第 4 四半期には、U300 に関する EDITION III 試験および IV 試験についての発表を行う予定です。
- EU における多発性硬化症用の Lemtrada™ および Aubagio®、米国におけるイヌ用の新規寄生虫駆除薬の NexGard™、OTC 用の Nasacort® Allergy 24HR を含め、複数の承認を取得しました。また、Cerdelga™ (一般名: eliglustat) に関する EU での承認申請が審査に向けて受理されました。

## 2013 年度の見通し

- 第 4 四半期に成長を回復することが見込まれるものの、第 3 四半期に長期にわたってワクチンが不足したことの影響を考慮すると、2013 年度の展望は、以前に発表したガイダンスの範囲の下限となる見通しです。したがって、2013 年度の 1 株当たり事業純利益は、重大な予期せぬ要因が発生しない限り、為替レート変動の影響を除き (CER)、2012 年度<sup>(6)</sup>より 10%程度低下するものと予想されます。

(1)財務指標の定義は付録 6 を参照 (2)IAS 19R への移行の影響を含む (3)特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて (CER)算出(定義は付録 6 を参照) (4)3 ページを参照 (5)定義は 8 ページを参照 (6)IAS 19R を遡及的に適用した 2012 年度の 1 株当たり事業純利益は 6.14 ユーロ

## 2013年度第3四半期および年初から9か月間の売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高伸長データは、為替レート変動の影響を排除して<sup>(1)</sup>算出しています。

2013年度第3四半期における売上高は、前年同期比(調整前)6.7%減の84億3,200万ユーロとなりました。為替レートの変動(主に対ユーロでの日本円、米ドル、ブラジル・リアル、ベネズエラ・ボリバル、オーストラリア・ドル、南アフリカ・ランド、およびロシア・ルーブルの下落)により、7.3ポイントの悪影響を受けました。

年初からの売上高は、前年同期比(調整前)7.3%減の244億9,400万ユーロとなりました。為替レートの変動(主に対ユーロでの日本円、米ドル、ベネズエラ・ボリバル、ブラジル・リアル、オーストラリア・ドル、および南アフリカ・ランドの下落)により、4.5ポイントの悪影響を受けました。

### 成長基盤

2013年度第3四半期におけるグループの成長基盤の売上高は、5.5%増の62億9,800万ユーロとなりました。新興市場の業績は、中国の医薬品市場の鈍化や、ブラジルでジェネリック医薬品の売上高が減少したことの影響を受けました。第3四半期にグループの成長基盤が連結売上高全体に占める割合は、前年同期の70.9%から74.7%に増加しました。

2013年度年初から9か月間における成長基盤の売上高は、5.5%増の177億3,900万ユーロであり、連結売上高全体に占める割合は、前年同期の66.4%から72.4%に増加しました。

(単位:100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)	2013年度 年初から9か月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)
糖尿病	1,670	+20.1%	4,833	+18.6%
ワクチン	1,300	-7.2%	2,757	-0.2%
コンシューマー・ヘルスケア(CHC)	742	+9.8%	2,282	+4.8%
ジェンザイム	529	+21.1%	1,547	+23.9%
動物用医薬品	458	-6.4%	1,541	-5.0%
その他の革新的製品 <sup>(a)</sup>	191	+31.2%	519	+20.0%
新興市場 <sup>(b)</sup>	2,652	+2.8%	8,040	+2.2%
—糖尿病、ワクチン、CHC、動物 用医薬品、ジェンザイム、その他の 革新的製品	1,244	+8.3%	3,780	+12.3%
—その他の製品	1,408	-1.5%	4,260	-5.3%
<b>成長基盤合計</b>	<b>6,298</b>	<b>+5.5%</b>	<b>17,739</b>	<b>+5.5%</b>

(a) 上記のその他の成長基盤に属さない2009年以降に発売された製品、すなわち Multaq<sup>®</sup>、Jevtana<sup>®</sup>、Zaltrap<sup>®</sup>、Auvi-Q<sup>™</sup>、および Mozobil<sup>®</sup>を含む

(b) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

### 医薬品

2013年度第3四半期における医薬品事業の売上高は、2.7%増の66億7,400万ユーロでした。第3四半期に米国とEUで実績のある主力製品におけるジェネリック医薬品との競合(主に米国での Eloxatin<sup>®</sup>およびEUでの Aprovel<sup>®</sup>)によって失われた売上高は、1億9,100万ユーロであり、第2四半期よりも大幅に縮小しました。

年初からの医薬品事業の売上高は、3.0%減の201億9,600万ユーロとなりました。年初から9か月間に米国とEUで実績のある主力製品におけるジェネリック医薬品との競合によって失われた売上高は、12億2,700万ユーロでした。

### 糖尿病領域

(単位:100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)	2013年度 年初から9か月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)
Lantus <sup>®</sup> (ランタス)	1,456	+21.2%	4,203	+20.0%
Apidra <sup>®</sup> (アピドラ)	73	+36.8%	207	+30.9%
Amaryl <sup>®</sup> (アマリール)	91	-0.9%	284	-1.9%
Insuman <sup>®</sup>	34	+2.9%	99	+1.0%
<b>糖尿病領域合計</b>	<b>1,670</b>	<b>20.1%</b>	<b>4,833</b>	<b>18.6%</b>

<sup>(1)</sup> 財務指標の定義は付録6を参照

糖尿病領域は、11期連続で2桁成長(20.1%増の16億7,000万ユーロ)を達成しました。Lantus®(ランタス)の売上高は、21.2%増の14億5,600万ユーロでした。米国におけるLantus®(ランタス)の売上高は、価格上昇とバイアルからSoloSTAR®(ソロスター)ペンへの切り替えに支えられ、30.4%増の9億8,500万ユーロとなりました。第3四半期に、米国でLantus® SoloSTAR®(ランタス注ソロスター)がLantus®(ランタス)の売上高全体に占める割合は、前年同期の51.5%に対し、57.4%となりました。Lantus®(ランタス)の売上高は、西欧諸国では3.0%増の2億100万ユーロ、新興市場では5.9%増の1億9,800万ユーロでした。年初からのLantus®(ランタス)の売上高は、20.0%増の42億300万ユーロとなりました。

Apidra®(アピドラ)の売上高は、第3四半期に36.8%増の7,300万ユーロ、年初から9カ月間では30.9%増の2億700万ユーロであり、力強い業績を上げました。

Amaryl®(アマリール)の売上高は、日本におけるジェネリック医薬品との競合の影響(13.3%減の2,000万ユーロ)を受けて、0.9%減の9,100万ユーロとなりました。新興市場におけるAmaryl®(アマリール)の売上高は、7.4%増の6,500万ユーロとなりました。年初からのAmaryl®(アマリール)の売上高は、1.9%減の2億8,400万ユーロであり、そのうち2億300万ユーロ(9.6%増)が新興市場で計上されました。

1日1回投与のPrandial(プランディア)GLP-1受容体作動薬Lyxumia®(リクスミア)(一般名:リキシセナチド)は現在、欧州の数カ国(英国、ドイツ、スペインを含む)、日本、メキシコで販売されています。ドイツでは、ドイツ連邦共同委員会(GBA)が、GBAが選択した対照薬と比較した場合の試験データ不足などの要因を考慮し、これらの対照薬と比較して、リキシセナチドに追加的なベネフィットを見出せないとした。サノフィはGBAの決定に異議を唱え選択肢を評価しているところです。第3四半期におけるLyxumia®(リクスミア)の売上高は、300万ユーロでした。

年初からの糖尿病領域の売上高は、18.6%増の48億3,300万ユーロでした。

## ジェンザイム

(単位:100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)	2013年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)
Cerezyme®(セレザイム)	165	+8.6%	507	+14.3%
Myozyme®(マイオザイム)/ Lumizyme®	127	+14.7%	369	+11.4%
Fabrazyme®(ファブラザイム)	96	+19.5%	279	+40.9%
Aldurazyme®(アウドラザイム)	38	+7.9%	116	+11.0%
希少疾患合計	485	+11.1%	1,450	+16.2%
Aubagio®	44	-	97	-
多発性硬化症合計	44	-	97	-
<b>ジェンザイム合計</b>	<b>529</b>	<b>+21.1%</b>	<b>1,547</b>	<b>+23.9%</b>

第3四半期におけるジェンザイムの売上高は、米国におけるAubagio®の成長と希少疾患製品の好業績を受けて、21.1%増の5億2,900万ユーロとなりました。ジェンザイムは、米国(40.1%増の2億200万ユーロ)と新興市場(27.1%増の1億1,100万ユーロ)で好業績を記録しました。年初からのジェンザイムの売上高は、23.9%増の15億4,700万ユーロとなりました。

第3四半期におけるCerezyme®(セレザイム)の売上高は、新規患者の増加と新興市場の売上高(37.0%増の5,700万ユーロ)に牽引され、8.6%増の1億6,500万ユーロとなりました。米国におけるCerezyme®(セレザイム)の売上高は、主に新規患者の増加を反映し、6.7%増の4,600万ユーロとなりました。西欧諸国における同製品の売上高は、緊縮措置の影響を反映し、1.9%減の5,200万ユーロとなりました。年初からのCerezyme®(セレザイム)の売上高は、14.3%増の5億700万ユーロとなりました。

第3四半期におけるMyozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、すべての地域における新規患者の増加と、新興市場における売上高(50.0%増の1,900万ユーロ)に牽引され、14.7%増の1億2,700万ユーロとなりました。米国での売上高は13.3%増の3,200万ユーロ、西欧諸国での売上高は7.8%増の6,800万ユーロでした。年初からのMyozyme®(マイオザイム)/Lumizyme®の売上高は、11.4%増の3億6,900万ユーロとなりました。

第3四半期におけるFabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、19.5%増の9,600万ユーロとなりました。西欧諸国における同製品の売上高は、競合製品からの市場シェア獲得を反映し、50.0%増の2,000万ユーロとなりました。米国におけるFabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、新規患者の増加を受けて、20.5%増の5,000万ユーロとなりました。年初からのFabrazyme®(ファブラザイム)の売上高は、40.9%増の2億7,900万ユーロでした。

**Aubagio**<sup>®</sup>の第3四半期の売上高は4,400万ユーロ、年初から9カ月間の売上高は9,700万ユーロでした。2012年9月、同製品は米国において、再発性多発性硬化症患者に適応される1日1回服用の新規経口薬として承認されました。2013年8月、**Aubagio**<sup>®</sup>は、再発寛解型の多発性硬化症の成人患者の治療薬として、欧州委員会より販売承認を取得しました。また、**Aubagio**<sup>®</sup>の新有効成分指定も取得しました。これにより、EUにおける10年間の特許権が付与されます。

9月、**Lemtrada**<sup>™</sup>(一般名:alemtuzumab)は、臨床的または脳病巣画像により活動性が認められる再発寛解型多発性硬化症の成人患者の治療薬として、欧州委員会より販売承認を取得しました。

## その他の革新的製品<sup>(7)</sup>

(単位:100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)	2013年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)
Multaq <sup>®</sup>	67	+7.7%	198	+5.7%
Jevtana <sup>®</sup>	59	+12.5%	165	-2.9%
Auvi-Q <sup>®</sup>	27	-	42	-
Mozobil <sup>®</sup>	25	0.0%	76	+9.9%
Zaltrap <sup>®</sup>	13	+100.0%	38	+457.1%
<b>その他の革新的製品合計</b>	<b>191</b>	<b>+31.2%</b>	<b>519</b>	<b>+20.0%</b>

**Multaq**<sup>®</sup>の第3四半期の売上高は、7.7%増の6,700万ユーロ、年初から9カ月間の売上高は、5.7%増の1億9,800万ユーロでした。第3四半期における**Jevtana**<sup>®</sup>の売上高は、西欧諸国と新興市場での成長と、米国での売上高減少を反映し、12.5%増の5,900万ユーロとなりました。年初からの**Jevtana**<sup>®</sup>の売上高は、2.9%減の1億6,500万ユーロでした。第3四半期における**Auvi-Q**<sup>®(8)</sup>の売上高は、2,700万ユーロでした。2013年1月、サノフィは米国で**Auvi-Q**<sup>®</sup>を発売しました。**Auvi-Q**<sup>®</sup>は、アナフィラキシーのリスクが高いか、またはその既往歴がある患者における生命にかかわるアレルギー反応の応急処置を適応として、音声と視覚的合図に沿って使用する最初にして唯一のエピネフリン自動注入器です。年初からの**Auvi-Q**<sup>®</sup>の売上高は、4,200万ユーロでした。**Mozobil**<sup>®</sup>の第3四半期の売上高は2,500万ユーロ、年初からの売上高は9.9%増の7,600万ユーロでした。**Zaltrap**<sup>®</sup>(一般名:アフリベルセプト、Regeneron社との共同開発)の第3四半期の売上高は1,300万ユーロ、年初からの売上高は3,800万ユーロでした。**Zaltrap**<sup>®</sup>は、2012年8月に米国で発売され、2013年2月に欧州で承認を取得した後、ドイツおよび英国を含む複数市場で発売されました。今後、サノフィが承認を取得し、保険償還を受け次第、欧州諸国およびその他地域で同製品を順次発売していきます。

## エスタブリッシュ医薬品

(単位:100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)	2013年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)
Plavix <sup>®</sup> (プラビックス)	423	-1.6%	1,366	-2.6%
Lovenox <sup>®</sup>	401	-3.7%	1,265	-10.6%
Aprovel <sup>®</sup> /Avapro <sup>®</sup>	210	-25.5%	689	-24.7%
Renvela <sup>®</sup> /Renagel <sup>®</sup> (レナジェル)	187	+20.7%	533	+15.3%
Myslee <sup>®</sup> (マイスリー)/Ambien <sup>®</sup> /Stilnox <sup>®</sup>	94	-10.3%	287	-13.4%
Synvisc <sup>®</sup> (サイビスク)/Synvisc-One <sup>®</sup>	90	+9.0%	272	+3.3%
Taxotere <sup>®</sup> (タキソテール)	84	-24.0%	306	-23.3%
Allegra <sup>®</sup> (アレグラ)	71	-18.2%	319	-9.8%
Eloxatin <sup>®</sup>	50	-58.1%	169	-80.4%

第3四半期における**Plavix**<sup>®</sup>(プラビックス)の売上高は、中国の不安定な市況と日本の成長を反映し、1.6%減の4億2,300万ユーロとなりました。年初からの**Plavix**<sup>®</sup>(プラビックス)の売上高は、2.6%減の13億6,600万ユーロとなりました。

第3四半期における**Lovenox**<sup>®</sup>の売上高は、米国でジェネリック医薬品の影響を受け、売上高が23.6%減の3,900万ユーロとなったことを反映し、3.7%減の4億100万ユーロとなりました。年初からの**Lovenox**<sup>®</sup>の売上高は、10.6%減の12億6,500万ユーロでした。

<sup>(7)</sup> その他の成長基盤に属さない最近の製品発売を含む

<sup>(8)</sup> Sanofi USは、北米における**Auvi-Q**<sup>™</sup>商業化のライセンスをIntelliject Inc.社から取得

第3四半期における **Aprovel®/Avapro®** の売上高は、西欧諸国でのジェネリック医薬品との競合を反映し、25.5%減の2億1,000万ユーロとなりました。新興市場における同製品の売上高は、2桁成長(11.6%増の9,700万ユーロ)を記録しました。フランスでは、2種類の剤形(単剤および利尿剤との配合剤)に関しても、ジェネリック医薬品との競合により、同製品の売上高が76.7%減となりました。年初からの **Aprovel®/Avapro®** の売上高は、24.7%減の6億8,900万ユーロであり、そのうち3億800万ユーロ(7.4%増)が新興市場で計上されました。

第3四半期における **Renvela®/Renagel®** (レナジェル) の売上高は、米国(20.9%増の1億3,200万ユーロ)に牽引され、20.7%増の1億8,700万ユーロとなりました。同製品は、新興市場および西欧諸国でも2桁成長を達成しました。年初からの **Renvela®/Renagel®** (レナジェル) の売上高は、15.3%増の5億3,300万ユーロでした。

第3四半期における **Ambien®** 製品群の売上高は、日本におけるジェネリック医薬品との競合の影響(13.7%減の4,800万ユーロ)を反映し、10.3%減の9,400万ユーロとなりました。年初からの **Ambien®** 製品群の売上高は、13.4%減の2億8,700万ユーロでした。

**Synvisc®** (サイビスク) / **Synvisc-One®** の第3四半期の売上高は、9.0%増の9,000万ユーロ、年初から9カ月間の売上高は、3.3%増の2億7,200万ユーロでした。

第3四半期における **Taxotere®** (タキソテール) の売上高は、世界的なジェネリック医薬品との競合の影響を受けて、24.0%減の8,400万ユーロとなりました。年初からの **Taxotere®** (タキソテール) の売上高は、23.3%減の3億600万ユーロでした。

第3四半期における処方薬としての **Allegra®** (アレグラ) の売上高は、日本における売上高が、ジェネリック医薬品との競合の影響を受けて28.6%減の4,100万ユーロとなったことを反映し、18.2%減の7,100万ユーロとなりました。年初からの **Allegra®** (アレグラ) の売上高は、9.8%減の3億1,900万ユーロでした。

第3四半期における **Eloxatin®** の売上高は、2012年8月9日に米国で特許権満了を迎えた後、ジェネリック医薬品との競合が生じた影響を受けて、58.1%減の5,000万ユーロとなりました。年初からの **Eloxatin®** の売上高は、80.4%減の1億6,900万ユーロでした。

## コンシューマー・ヘルスケア

(単位:100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)	2013年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)
Doliprane®	71	+10.9%	222	+12.1%
Allegra® (アレグラ)	60	+22.2%	224	+11.0%
Essentiale®	39	+20.0%	147	+20.6%
Enterogermina®	32	+35.7%	100	+19.4%
No Spa®	32	+17.2%	86	+6.0%
Lactacyd®	27	+3.4%	78	+2.5%
Dorflex®	24	+0.0%	70	+5.3%
その他の CHC 製品	457	+6.4%	1,355	+0.6%
<b>コンシューマー・ヘルスケア合計</b>	<b>742</b>	<b>+9.8%</b>	<b>2,282</b>	<b>+4.8%</b>

第3四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア(CHC)製品の売上高は、CHCの主力ブランドの好業績、米国での **Rolaid®** リニューアル、および中国での業績向上に牽引され、9.8%増となりました。第3四半期に、**Doliprane®**、**Allegra®** (アレグラ)、**Essentiale®**、**Enterogermina®**、**No Spa®** は2桁成長を達成しました。9月、サノフィは、制酸剤の **Rolaid®** を米国全土の小売店に再発売しました。この象徴的なブランドは、3年間にわたり市場から姿を消していましたが、Chattem社が今年 **Rolaid®** を取得し市場に戻ってきました。**Rolaid®** は、錠剤と新規液剤の両方で提供されます。**Allegra®** (アレグラ) OTC は、最近の日本における発売と、米国の好業績(22.7%増の5,100万ユーロ)を反映し、22.2%増の6,000万ユーロとなりました。新興市場における売上高は、中南米および東欧に牽引され、11.5%増の3億7,400万ユーロとなりました。年初からのCHCの売上高は、4.8%増の22億8,200万ユーロでした。

10月、**Nasacort® Allergy 24HR** 点鼻薬について、季節性および通年性鼻アレルギーの成人および2歳以上の小児に対するOTC医薬品としてFDAより承認を取得しました。**Nasacort®** は、このクラスにおいて処方箋なしで購入できる最初で唯一の治療薬であり、米国におけるサノフィのコンシューマー・ヘルスケア部門であるChattem社によって販売されます。**Nasacort®** は、2014年春に提供開始の予定です。

## ジェネリック医薬品

第3四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、ブラジルでの売上高減少の影響を受けて、5.4%減の4億2,400万ユーロとなりました。ブラジルを除くと、ジェネリック医薬品の売上高は、7.4%増でした。ブラジルでは、8月半ばに再発注点に達し、売上高が改善しました。米国におけるジェネリック医薬品の売上高は、Lovenox<sup>®</sup>とAprovel<sup>®</sup>のオーソライズド・ジェネリック医薬品の売上高減少を反映し、42.9%減の3,700万ユーロとなりました。西欧諸国におけるジェネリック医薬品の売上高は、フランスでの売上高減少の影響を反映し、5.8%減の1億2,800万ユーロとなりました。年初からのジェネリック医薬品の売上高は、14.9%減の11億4,700万ユーロとなりました。

## ワクチン

(単位: 100万ユーロ)	2013年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)	2013年度 年初から9カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響 を除く)
インフルエンザワクチン (Vaxigrip <sup>®</sup> とFluzone <sup>®</sup> を含む)	559	-3.9%	731	-2.4%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ) ワクチン(Pentacel <sup>®</sup> 、Pentaxim <sup>®</sup> 、および Imovax <sup>®</sup> (イモバックス)を含む)	244	-17.2%	807	+2.1%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra <sup>®</sup> を含む)	211	-3.5%	414	-0.7%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用 ワクチン	101	+31.3%	273	+9.6%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン (Adacel <sup>®</sup> を含む)	84	-36.4%	293	-19.3%
その他のワクチン	101	+6.0%	239	+22.9%
<b>ワクチン合計 (連結売上高)</b>	<b>1,300</b>	<b>-7.2%</b>	<b>2,757</b>	<b>-0.2%</b>

第3四半期におけるサノフィパスツールの連結売上高は、米国で10月半ばまでPentacel<sup>®</sup>、Adacel<sup>®</sup>、Daptacel<sup>®</sup>の供給不足が続いたことを受け、7.2%減の13億ユーロでした。この供給制限は、トロント工場の通常試験手順で異常が見つかり、製造工程の問題が明らかになったために生じました。サノフィパスツールは、2013年度第4四半期に百日咳抗原を含むワクチンの供給が徐々に回復すると予測しています。年初からのサノフィパスツールの連結売上高は、0.2%減の27億5,700万ユーロでした。

第3四半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、米国におけるPentacel<sup>®</sup>の供給制限と、日本におけるImovaxPolio<sup>®</sup>(イモバックスポリオ皮下注)が、2012年9月の発売以来、キャッチアップ接種の需要が落ち着き売上高が減少したことの影響を受け、17.2%減の2億4,400万ユーロとなりました。新興市場におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチンの売上高は、中国とメキシコでのPentaxim<sup>®</sup>と中国とブラジルでのIPV<sup>®</sup>の好業績により、17.3%増加しました。新興市場でのHexaxim<sup>®</sup>の展開は、予定どおり継続中です。ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌b型(ヒブ)予防ワクチンの年初からの売上高は、2.1%増の8億700万ユーロでした。

第3四半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、3.9%減の5億5,900万ユーロでした。米国における売上高は、段階的な供給により、0.9%減の4億200万ユーロでした。サノフィパスツールは、2013年度下半期の北半球でのインフルエンザワクチンが、米国市場での差別化戦略に牽引され、記録的な売上高を達成すると予想しています。6月、FDAは、サノフィパスツールの4価(4株)インフルエンザワクチンであるFluzone<sup>®</sup> Quadrivalent ワクチンの生物学的製剤追加承認申請を承認しました。このワクチンはFluzone<sup>®</sup> インフルエンザワクチン製品群の最新製品です。よって、この製品群の構成は、Fluzone<sup>®</sup>、Fluzone<sup>®</sup> Quadrivalent(4価)、Fluzone<sup>®</sup> High-Dose(高用量)、Fluzone<sup>®</sup> Intradermal(皮内接種)となりました。さらに8月、サノフィパスツールは、65歳以上を対象とした大規模な多施設共同有効性試験の主要な結果を発表し、Fluzone<sup>®</sup> High-Dose には、標準的用量のFluzone<sup>®</sup> ワクチンと比較して、インフルエンザ予防により優れた臨床効果があることが示されたと明らかにしました。この試験では、Fluzone<sup>®</sup> High-Dose ワクチンが、この対象群においてFluzone<sup>®</sup> ワクチンよりも24.2%高いインフルエンザ予防効果を示しました。年初からのインフルエンザワクチンの売上高は、2.4%減の7億3,100万ユーロでした。また10月には、中国の保健当局から、深圳のインフルエンザワクチン工場の商業生産を許可する適正製造基準(GMP)証明書を取得しました。

第3四半期における **Menactra®** の売上高は、1.9%減の 1 億 9,400 万ユーロとなりました。Menactra® が市場で優勢なシェアを維持している米国での売上高は、公的機関からの受注が段階的になることを反映し、4.1%とやや減の 1 億 7,700 万ユーロでした。年初からの Menactra® の売上高は、前年同期並みの 3 億 6,100 万ユーロでした。

トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの売上高は、第3四半期は 31.3%増の 1 億 100 万ユーロ、年初から 9 カ月間は 9.6%増の 2 億 7,300 万ユーロであり、第3四半期の Typhim® の供給回復の恩恵を受けました。

第3四半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、米国での Adacel® の供給制限を反映し、36.4%減の 8,400 万ユーロとなりました。年初からの成人用ブースターワクチンの売上高は、19.3%減の 2 億 9,300 万ユーロでした。

その他のワクチンの売上高は、VaxServe<sup>(9)</sup> の成長を反映し、第3四半期は 6.0%増の 1 億 100 万ユーロ、年初から 9 カ月間は 22.9%増の 2 億 3,900 万ユーロとなりました。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD (サノフィに非連結) は、Zostavax® に牽引され、(調整前)9.7%増の 2 億 9,600 万ユーロの売上高を計上しました。Hexyon® (ジフテリア・破傷風・百日咳・不活化ポリオ・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)・B 型肝炎ワクチン) は、第3四半期の初めにドイツで発売されました。年初からのサノフィパスツール MSD の売上高は、4.6%増の 6 億 3,000 万ユーロでした。

## 動物用医薬品

(単位:100 万ユーロ)	2013 年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)	2013 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)
コンパニオンアニマル	279	-10.0%	976	-9.7%
産業動物	179	+0.5%	565	+4.3%
<b>動物用医薬品合計</b>	<b>458</b>	<b>-6.4%</b>	<b>1,541</b>	<b>-5.0%</b>
ーフィプロニル製品	151	-10.1%	515	-17.6%
ーアベルメクチン製品	90	-11.9%	335	+4.5%
ーワクチン	160	-1.7%	521	+3.5%

第3四半期における動物用医薬品の売上高は、6.4%減の 4 億 5,800 万ユーロでした。年初からの動物用医薬品の売上高は、5.0%減の 15 億 4,100 万ユーロとなりました。

第3四半期におけるコンパニオン・アニマル・フランチャイズの売上高は、10.0%減の 2 億 7,900 万ユーロでした。この背景には、2012 年度第3四半期に競合製品の供給問題が有利に働いた Heartgard® を基準として比較していること、また処方薬やフィプロニル製品のブランドジェネリック医薬品といった、Frontline® (フロントライン) を取り巻く競合の激化があります。

9 月、FDA は、成犬および子犬の 1 カ月間のノミ寄生の予防・駆除薬、およびアメリカイヌカクマダニの駆除・抑制薬として、NexGard™ (一般名:アフォキシラネル) チュアブルを承認しました。NexGard™ は低用量で優れた効果を示し、ノミとマダニを駆除するために承認された最初で唯一のビーフ風味のソフトチュアブルです。新しく異なる作用機序を持つイソオキサゾリンをベースとする化合物である新規有効成分アフォキシラネルを含有します。リアルは、来たるべきノミやマダニのシーズンに合わせて、NexGard™ を獣医師に提供する予定です。

第3四半期における産業動物フランチャイズの売上高は、0.5%増の 1 億 7,900 万ユーロでした。

## 地域別純売上高

(単位:100 万ユーロ)	2013 年度 第3四半期 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)	2013 年度 年初から 9 カ月間 純売上高	前年同期比 (為替レート変動の影響を 除く)
米国	2,982	+5.2%	7,779	-4.5%
新興市場 <sup>(a)</sup>	2,652	+2.8%	8,040	+2.2%
ー中南米	777	+2.2%	2,188	-5.4%
ーアジア	739	+4.0%	2,264	+8.3%
ー東欧、ロシア、およびトルコ	642	+2.2%	1,961	+1.2%

<sup>(9)</sup> 米国でワクチンを供給するサノフィパスツールの関連会社



–アフリカ	231	+2.4%	762	+7.4%
–中東	231	+4.8%	769	+9.2%
西欧諸国 <sup>(b)</sup>	1,930	-4.8%	5,888	-7.6%
その他 <sup>(c)</sup>	868	-7.0%	2,787	-1.9%
–日本	573	-9.4%	1,857	-2.7%
<b>合計</b>	<b>8,432</b>	<b>+0.6%</b>	<b>24,494</b>	<b>-2.8%</b>

(a) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(b) フランス、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ギリシャ、キプロス、マルタ、ベルギー、ルクセンブルク、ポルトガル、オランダ、オーストリア、スイス、スウェーデン、アイルランド、フィンランド、ノルウェー、アイスランド、デンマーク

(c) 日本、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

第3四半期における米国の売上高は、パテントクリフの影響が著しく縮小し、糖尿病領域(30.9%増)、ジェンザイム(40.1%増)、CHC(16.4%増)が好業績を上げたことを受けて、5.2%増の29億8,200万ユーロとなりました。年初からの米国の売上高は、4.5%減の77億7,900万ユーロでした。

第3四半期における新興市場の売上高は、ブラジルでのジェネリック医薬品の売上高減少と中国の医薬品市場の鈍化の影響を受け、2.8%増の26億5,200万ユーロでした。ジェンザイム(27.1%増)およびCHC(11.5%)は2桁成長を記録しました。中国の売上高は、期中に業界の捜査が実施され医薬品市場が鈍化したことから、5.0%増の3億5,100万となりました。プロモーション活動と売上高は次第に平常時に戻りつつあります。東欧、ロシア、トルコの売上高は、ロシアの好業績(10.3%増の2億800万ユーロ)を含め、2.2%増となりました。ブラジルの売上高は、ジェネリック医薬品の売上高減少を反映し、17.4%減の2億6,900万ユーロとなりました。中南米の売上高は、2.2%増の7億7,700万ユーロとなりました。年初からの新興市場の売上高は、2.2%増の80億4,000万ユーロでした。

第3四半期における西欧諸国の売上高は、Aprovel<sup>®</sup>のジェネリック医薬品との競合と緊縮政策の影響を受けて、4.8%減の19億3,000万ユーロとなりました。西欧諸国の売上高の傾向は、過去4四半期で徐々に改善しつつあります。年初からの西欧諸国の売上高は、7.6%減の58億8,800万ユーロでした。

第3四半期における日本の売上高は、主にAllegra<sup>®</sup>(アレグラ)、Myslee<sup>®</sup>(マイスリー)、Amaryl<sup>®</sup>(アマリール)のジェネリック医薬品の影響、Aprovel<sup>®</sup>の有効成分の現地パートナーへの売上高の減少、Imovax<sup>®</sup> Polio(イモバックスポリオ皮下注)の売上高が低調であったことを反映し、9.4%減の5億7,300万ユーロとなりました。年初からの日本の売上高は、2.7%減の18億5,700万ユーロでした。

## 研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録5をご参照ください。

### 薬事関連の最新情報

2013年8月1日の2013年度第2四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 10月、欧州医薬品庁(EMA)は、ゴーシェ病の経口治療薬であるCerdelga<sup>™</sup>(一般名: eliglustat)の承認申請を受理しました。
- 10月、FDAは、Lantus<sup>®</sup>(ランタス)(一般名: インスリン グラルギン)の製品ラベルにORIGIN(Outcome Reduction with Initial Glargine INtervention)心血管アウトカム試験の安全性データを盛り込むことを承認しました。
- 10月、FDAは、成人および2歳以上の小児の季節性および通年性鼻アレルギー治療のOTC医薬品として、Nasacort<sup>®</sup> Allergy 24HR点鼻薬(一般名: triamcinolone)を承認しました。
- 9月、FDAは、成犬および子犬の1カ月間のノミ寄生の予防・駆除薬、およびアメリカイヌカクマダニの駆除・抑制薬として、NexGard<sup>™</sup>(一般名: アフォキシラネル)チュアブルの投与を承認しました。
- 9月、欧州委員会は、臨床的または脳病巣画像により活動性が認められる再発寛解型の多発性硬化症の成人患者の治療薬としてのLemtrada<sup>™</sup>(一般名: alemtuzumab、多発性硬化症においてバイエルヘルスケア社と共同開発)の販売を承認しました。
- 9月、サノフィは、進行中のELIXA心血管(CV)アウトカム試験の初期中間結果を含む、米国でのlixisenatide(リキシセナチド)の新薬承認申請(NDA)を取り下げました。lixisenatide(リキシセナチド)の申請を取り下げる決

定は、中間データの審査プロセス案に関して FDA と協議した後下されました。サノフィは、初期中間データを公開することにより、データ保護策を講じたとしても、進行中の ELIXA 試験のデータ頑健性の担保に影響を与える可能性があると判断しました。サノフィの決定は、本製品の安全性の問題や申請データの不備に関連して下されたわけではありません。サノフィは、ELIXA CV 試験の完了後、2015 年に NDA を再提出することを予定しています。

- 8 月、欧州委員会は、再発寛解型多発性硬化症の成人患者の、1 日 1 回服用の経口治療薬である **Aubagio**<sup>®</sup> 14 mg の販売を承認しました。
- **Jevtana**<sup>®</sup> は、前立腺がんの治療薬として日本の保健当局に申請されました。

2013 年 10 月末時点の研究開発ポートフォリオは、臨床開発段階にあるワクチンの候補を含む 52 のプロジェクト(ライフサイクルマネジメントを除く)から構成され、そのうち 12 プロジェクトは第 III 相あるいは保健当局に承認申請を行っている段階にあります。

## ポートフォリオの最新情報

### 第 III 相:

- 10 月、サノフィと Regeneron 社は、現在開発中の PCSK9(proprotein convertase subtilisin/kexin type 9)を標的とするモノクローナル抗体である **alirocumab** の第 III 相 ODYSSEY MONO 試験で主要有効性評価項目が達成されたことを発表しました。試験の主要有効性評価項目である 24 週目の時点における低比重リポタンパクコレステロール(LDL コレステロール、いわゆる「悪玉」コレステロール)のベースラインからの低下の中央値は、対照薬である **ezetimibe** に割り付けられた患者と比較して、**alirocumab** に割り付けられた患者で有意に大きくなりました(**alirocumab** 群 47.2%、**ezetimibe** 群 15.6%、 $p<0.0001$ )。試験では、70 mg/dL の LDL コレステロールレベルを達成しなかった患者については用量を増加(漸増)しましたが、大部分の患者は当初の用量である **alirocumab** 75 mg の投与を継続しました。
- 8 月、初期症候性クロストリジウム・ディフィシル感染症(CDI)を予防するワクチンの安全性、免疫原性、有効性を評価する第 III 相臨床試験プログラム **Cdiffense** を開始しました。クロストリジウム・ディフィシル(**C. diff**)は、時に致命的となる恐れがある芽胞形成性細菌で腸疾患を引き起こします。第 III 相 **Cdiffense** プログラムは、被験者募集を開始しており、最大で 15,000 人の成人が参加の見通しです。被験者の条件は、50 歳以上で入院を予定しているか、または少なくとも 2 回入院したことがあり、過去 1 年以内に抗生物質の全身投与を受けていることです。
- 8 月、サノフィパスツールは、65 歳以上を対象とした、大規模な多施設共同有効性試験の主要結果を発表し、**Fluzone**<sup>®</sup> **High-Dose**(インフルエンザウイルスワクチン)が、標準的用量の **Fluzone** ワクチンと比較して、インフルエンザの予防に優れた臨床効果を有することを明らかにしました。同試験では、**Fluzone**<sup>®</sup> **High-Dose** ワクチンが、65 歳以上の成人において、**Fluzone**<sup>®</sup> ワクチンよりも 24.2%高いインフルエンザ予防効果を示しました。この大規模な多施設共同有効性試験では、以前の試験で実証された **Fluzone**<sup>®</sup> **High-Dose** ワクチンの安全性も再確認されました。

### 第 II 相:

- 9 月、鼻ポリープにおける **dupilumab** を評価する第 IIa 相試験が開始されました。
- 卵巣がんにおける **SAR256212**(MM-121—Merrimack 社と共同開発中)を評価する第 II 相試験は、白金製剤に抵抗性となった卵巣がん患者の全体および任意抽出群で主要評価項目(無増悪生存期間)を満たしませんでした。**SAR256212** とパクリタキセル併用のベネフィットを受ける患者サブセットの特定に向けて、患者腫瘍標本を用いて **ErbB3** に機能的にリンクした事前指定バイオマーカーの分析が実施されています。非小細胞肺癌における **SAR256212** とエルロチニブの併用を評価する第 II 相試験では、患者群全体で 2 つのコホートが中間解析を通過せず、3 つ目のコホートが最終解析で否定的な結果となりました。バイオマーカー解析は現在進行中です。**SAR256212** は、乳がん治療に関する他の 2 つの第 II 相試験で評価されています。
- 非ホジキンリンパ腫(NHL)の第 II 相試験を経て、サノフィは、この適応で **SAR245409**(XL765—Exelixis 社との共同開発)を追求しないことを決定しました。ただし、卵巣がんを対象とした **pimasertib**(Merck KgaA 社の **MEK** 阻害剤)との併用第 II 相試験は進行中です。

- 真性多血症 (PV) の治療における単剤としての **fedratinib** (Jak2 阻害剤) の開発は中断されました。サノフィは、PV における **fedratinib** の役割に関する他のオプションを調査しています。
- 小細胞肺癌における **Jevtana**<sup>®</sup> を評価する第 II 相試験は、主要評価項目を満たしませんでした。
- サノフィは、アレルギー性結膜炎における **FOV1101** (FDC プレドニゾン/シクロスポリン合剤) の開発を進めないことを決定しました。
- **SAR110894** (H3 受容体拮抗剤 – アルツハイマー病)、**SAR113945** (IKK-B 阻害剤 – 変形性関節炎)、**SAR97276** (マラリア治療の単剤療法) の各プロジェクトにおける第 II 相試験は、主要評価項目を満たさず、これらのプロジェクトは中止されました。

#### 第 I 相:

- **GZ402666** (遺伝子組み換えヒト  $\alpha$ -グルコシダーゼ、酵素補充療法) がポンペ病の治療に関して第 I 相に入りました。
- **単純ヘルペスウイルス 2 型** ワクチン候補も第 I 相に入りました。
- 急性虚血性脳卒中における **SAR126119** (TAFia 阻害剤) と脳外傷における **SAR127963** (P75 受容体作動薬) の 2 件の初期開発段階のプロジェクトを中止することを決定しました。

## 2013 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の業績

### 事業純利益<sup>(1)</sup>

第 3 四半期におけるサノフィの**純売上高**は、前年同期比(調整前)で **6.7%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **0.6%増**)の 84 億 3,200 万ユーロとなりました。年初からの売上高は、前年同期比(調整前)で **7.3%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **2.8%減**)の 244 億 9,400 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における**その他収益**は、米国で Enbrel<sup>®</sup>のロイヤリティが終了したことの影響を受け、**57.0%減**の 8,600 万ユーロとなりました。2012 年度第 3 四半期におけるこの項目には、米国での Avalide<sup>®</sup>供給停止に関連してブリistol・マイヤーズ スクイブ社(以下、BMS 社)から支払われた 8,000 万ドルの一時金の大部分が含まれます。2013 年度年初から 9 カ月間における**その他収益**は、**69.4%減**の 2 億 6,700 万ユーロとなりました。

第 3 四半期における**売上総利益**は、**11.3%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **3.6%減**)の 56 億 4,500 万ユーロとなりました。純売上高に占める売上原価の割合は、前年同期の **31.8%**に対し、**34.1%**となりました。この比率の変化は、高利益率のワクチンとコンパニオン・アニマル・ブランドの売上の減少、為替レート変動の悪影響、ジェネリック化された主要製品の売上高減少、ブラジルでのジェネリック医薬品の売上高減少などの複合的な影響を反映しています。年初からの売上総利益は、**12.6%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **7.9%減**)の 166 億 8,000 万ユーロとなりました。年初から 9 カ月間の純売上高に占める売上原価の割合は、**33.0%**となりました。

第 3 四半期における**研究開発費**は、**3.4%増**の 11 億 8,300 万ユーロとなりました。2013 年度第 3 四半期における研究開発費にはワクチン分野での研究開発ジョイントベンチャー費用の再分類が含まれ、2012 年度第 3 四半期には Hexyon<sup>®</sup>に関連する SPMSD ジョイントベンチャーからの払い戻しが含まれます。これらの項目を除外すると、研究開発費は、後期開発段階ポートフォリオへの投資を反映して、為替レート変動の影響を排除した場合は **2.3%増**となりました。年初からの研究開発費は、**0.8%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **1.4%増**)の 35 億 2,400 万ユーロとなりました。年初からの純売上高に占める研究開発費の割合は、前年同期の **13.4%**に対し、**14.4%**となりました。

第 3 四半期における**販売費および一般管理費**は、**7.4%減**の 20 億 1,600 万ユーロとなりました。販売費および一般管理費は、為替レート変動の影響を排除した場合、効率的なコスト管理、ジェンザイムによる多発性硬化症への経費投入、糖尿病領域への投資継続を反映し、**0.8%減**となりました。一般管理費は、為替レート変動の影響を排除した場合、**2.9%増**となりました。年初からの販売費および一般管理費は、**1.9%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **2.1%増**)の 64 億 5,400 万ユーロとなりました。年初からの純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、前年同期の **24.9%**に対し、**26.3%**となりました。

第 3 四半期における**その他の当期営業損益**は、前年同期の 7,600 万ユーロに対し、**2,800 万ユーロ**となりました。これは特にパートナー各社からの収益が減少したことを反映しています。2013 年度年初から 9 カ月間における**その他の当期営業損益**は、**1 億 9,800 万ユーロ**の利益となりました。

第 3 四半期における**関連会社持分利益**は、前年同期の 600 万ユーロに対し、**3,800 万ユーロ**となりました。これには、ワクチン分野での研究開発ジョイントベンチャー費用の再分類が含まれます。年初からの**関連会社持分利益**は、2012 年 5 月の米国での Plavix<sup>®</sup>(プラビックス)の特許権満了の影響を受け、前年同期の 4 億 2,500 万ユーロに対し、**5,900 万ユーロ**となりました。

第 3 四半期における**非支配株主に帰属する純利益**は、主に欧州での BMS 社に帰属する Plavix<sup>®</sup>(プラビックス)および Avapro<sup>®</sup>の利益が減少したことを反映し、**7.7%減**の 3,600 万ユーロとなりました。年初からの非支配株主に帰属する純利益は、**14.7%減**の 1 億 2,200 万ユーロでした。

第 3 四半期における**事業営業利益**は、**19.8%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **10.4%減**)の 24 億 7,600 万ユーロとなりました。純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期の **34.1%**に対し、**29.4%**となりました。年初からの事業営業利益は、**26.7%減**(為替レート変動の影響を排除した場合は **20.6%減**)の 68 億 3,700 万ユーロとなりました。年初からの純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期の **35.3%**に対し、**27.9%**となりました。

第 3 四半期における**純財務費用**は、前年同期の 1 億 3,500 万ユーロに対し、**1 億 2,300 万ユーロ**でした。年初からの純財務費用は、前年同期の 4 億 6,000 万ユーロに対し、**4 億ユーロ**でした。

<sup>(1)</sup> 財務指標の定義については付録 6、事業純利益から当社株主に帰属する連結純利益への調整については付録 3 を参照

第 3 四半期における**実効税率**は、前年同期の 25.1%に対し、24.0%となりました。年初からの実効税率は、前年同期の 27.0%に対し、24.0%となりました。これは主に、地域的な利益構成比と、多くの国で税務当局の最新かつ現行の手順が継続的に変化しているためであり、これによって 2013 年度に好影響が生じる見通しです。

第 3 四半期における**事業純利益**<sup>(1)</sup>は、18.7%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 8.9%減)の 17 億 8,900 万ユーロとなりました。年初からの事業純利益は、25.6%減(為替レート変動の影響を排除した場合は 19.1%減)の 48 億 7,700 万ユーロとなりました。年初からの純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期の 24.8%に対し、19.9%となりました。

2013 年度第 3 四半期の**1 株当たり事業純利益**<sup>(1)</sup>(EPS)は、調整前では 19.2%減、為替レート変動の影響を排除した場合は 9.0%減の 1.35 ユーロとなりました。2013 年度第 3 四半期には、通貨変動が事業 EPS に 10%以上に相当する 0.17 ユーロの影響を及ぼしました。2013 年度第 3 四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 1,840 万株に対し、13 億 2,350 万株となりました。年初からの**1 株当たり事業純利益**<sup>(1)</sup>(EPS)は、調整前では 26.0%減、為替レート変動の影響を排除した場合は 19.3%減の 3.68 ユーロとなりました。2013 年度年初から 9 カ月間の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 1,900 万株に対し、13 億 2,380 万株となりました。

### 事業純利益から連結純利益への調整(付録 3 を参照)

2013 年度年初から 9 カ月間の事業純利益と当社株主に帰属する連結純利益間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 9 億 4,100 万ユーロ、ジェンザイムの 6 億 9,600 万ユーロ、メリアル<sup>(1)</sup>の 2 億 9,200 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:8,500 万ユーロ)に関連した償却費、22 億 3,200 万ユーロ。2013 年度第 3 四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 2 億 6,100 万ユーロ、ジェンザイムの 2 億 2,800 万ユーロ、メリアル<sup>(1)</sup>の 9,700 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:3,100 万ユーロ)に関連した償却費、6 億 8,900 万ユーロを計上しました。これらの項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 無形固定資産に対する減損損失(無形固定資産に関連する戻入控除後)、4 億 6,800 万ユーロ(このうち、主に Rib-X 社との協力終了および NHL の開発を終了する決定を受けた SAR245409 に関連した 2,800 万ユーロが 2013 年度第 3 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- CVR に関連した偶発対価の公正価値の上昇(6,000 万ユーロ。このうち 2,200 万ユーロが 2013 年度第 3 四半期に計上)、バイエル社に関連した偶発対価の公正価値の上昇(9,400 万ユーロ。このうち 4,500 万ユーロが 2013 年度第 3 四半期に計上)、および Targegen 社(3,400 万ユーロ)を反映した費用、1 億 8,500 万ユーロ。
- 買収へのパーチェス法の適用により、公正価値で再評価した買収企業の在庫額の減少から生じる費用、700 万ユーロ。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- 2 億 3,000 万ユーロの事業再編費用(欧州および日本に関連する第 3 四半期の 7,100 万ユーロを含む)。
- 上記項目から生じた 10 億 3,800 万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた 7 億 2,300 万ユーロ、無形固定資産の減損損失に関連した 1 億 8,900 万ユーロ、および事業再編費用に関連した 8,100 万ユーロから構成される)。第 3 四半期の税効果は 2 億 8,900 万ユーロでした(無形固定資産に対する償却費から生じた 2 億 3,300 万ユーロの繰延税金、無形固定資産に対する減損損失に関連した 900 万ユーロ、および事業再編費用に関連した 2,400 万ユーロを含む)(付録 3 を参照)。
- サノフィ株主に支払った配当に対する 1 億 900 万ユーロの税金(3%)。
- 「関連会社持分利益」に含まれる、主に無形固定資産の償却に関連した 2,600 万ユーロの費用(税控除後)(このうち 900 万ユーロが 2013 年度第 3 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。

<sup>(1)</sup> 財務指標の定義については付録 6、事業純利益から当社株主に帰属する連結純利益への調整については付録 3 を参照

## 純負債

運転資本の増減による影響(10億1,500万ユーロ)と、米国の年金制度に関連した例外的な資金(3億500万ユーロ)を考慮した年初来の営業活動からの純キャッシュは、45億2,700万ユーロとなりました。それを新株発行による収益(7億9,600万ユーロ)によって部分的に相殺された株式の買い戻し(13億9,100万ユーロ)、サノフィが支払った配当(36億3,800万ユーロ)、資本支出(8億6,500万ユーロ)、買収・提携(売却を控除)(1億6,400万ユーロ)、および事業再編費用(4億8,900万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、2012年12月31日時点の77億1,900万ユーロから2013年9月30日時点の87億8,800万ユーロ(46億9,600万ユーロの現金および現金等価物を控除)へと増加しました。純負債は、2013年6月30日時点の101億7,200万ユーロから2013年9月30日時点の87億8,800万ユーロへと減少しました。

## 付録

### 付録一覧

付録1: 2013年度第3四半期および年初から9カ月間の地域別・製品別連結純売上高

付録2: 2013年度第3四半期および年初から9カ月間の損益計算書

付録3: 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

付録4: 2013年度第3四半期および年初から9カ月間の連結損益計算書

付録5: 研究開発パイプライン

付録6: 定義

付録 1: 2013 年度第 3 四半期および年初から 9 カ月間の地域別・製品別連結純売上高

2013 年度第 3 四半期純売上高 (単位: 100 万ユーロ)	合計	% CER	調整前	西欧諸国	% CER	米国	% CER	新興市場	% CER	その他	% CER
Lantus (ランタス)	1,456	21.2%	13.8%	201	3.0%	985	30.4%	198	5.9%	72	12.8%
Apidra (アピドラ)	73	36.8%	28.1%	21	10.5%	29	76.5%	16	38.5%	7	12.5%
Amaryl (アマリール)	91	-0.9%	-14.2%	5	-16.7%	0	-100.0%	65	7.4%	21	-12.9%
Insuman	34	2.9%	0.0%	22	-12.0%	0	-100.0%	12	33.3%	0	-200.0%
<b>糖尿病</b>	<b>1,670</b>	<b>20.1%</b>	<b>12.4%</b>	<b>262</b>	<b>3.5%</b>	<b>1,014</b>	<b>30.9%</b>	<b>291</b>	<b>8.5%</b>	<b>103</b>	<b>10.3%</b>
Taxotere (タキソテール)	84	-24.0%	-34.9%	5	-58.3%	3	-60.0%	46	-21.3%	30	-10.9%
Jevtana	59	12.5%	5.4%	27	33.3%	21	-11.5%	8	25.0%	3	100.0%
Eloxatin	50	-58.1%	-61.2%	2	0.0%	1	-100.0%	32	-10.8%	15	5.6%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	52	21.7%	13.0%	8	33.3%	26	3.8%	16	77.8%	2	0.0%
Zaltrap	13	100.0%	85.7%	5	-	8	50.0%	0	-	0	-100.0%
Mozobil	25	0.0%	-3.8%	8	14.3%	14	0.0%	3	50.0%	0	-100.0%
その他のオンコロジー製品	64	-26.1%	-30.4%	13	-31.6%	41	-21.2%	7	-58.8%	3	75.0%
<b>オンコロジー</b>	<b>347</b>	<b>-21.9%</b>	<b>-28.5%</b>	<b>68</b>	<b>3.0%</b>	<b>114</b>	<b>-42.5%</b>	<b>112</b>	<b>-12.7%</b>	<b>53</b>	<b>-3.9%</b>
Aubagio	44	-	-	0	-	44	-	1	-	-1	-
Cerezyme (セレザイム)	165	8.6%	1.2%	52	-1.9%	46	6.7%	57	37.0%	10	-27.8%
Myozyme (マイオザイム)	127	14.7%	9.5%	68	7.8%	32	13.3%	19	50.0%	8	12.5%
Fabrazyme (ファブラザイム)	96	19.5%	10.3%	20	50.0%	50	20.5%	12	-13.3%	14	21.4%
Aldurazyme (アウドラザイム)	38	7.9%	0.0%	14	-6.7%	7	33.3%	12	16.7%	5	0.0%
その他の希少疾患製品	59	1.5%	-10.6%	10	0.0%	23	-11.1%	10	11.1%	16	13.6%
<b>ジェンザイム</b>	<b>529</b>	<b>21.1%</b>	<b>12.6%</b>	<b>164</b>	<b>6.5%</b>	<b>202</b>	<b>40.1%</b>	<b>111</b>	<b>27.1%</b>	<b>52</b>	<b>3.0%</b>
Plavix (プラビックス)	423	-1.6%	-16.2%	63	-1.5%	0	-100.0%	169	-14.3%	191	11.9%
Lovenox	401	-3.7%	-8.2%	208	4.5%	39	-23.6%	130	-7.1%	24	-3.7%
Aprovel	210	-25.5%	-29.5%	78	-45.5%	4	-63.6%	97	11.6%	31	-30.6%
Renagel (レナジェル) および Renvela	187	20.7%	14.0%	32	13.8%	132	20.9%	18	18.8%	5	75.0%
Allegra (アレグラ)	71	-18.2%	-35.5%	2	-33.3%	-2	-	30	16.7%	41	-28.6%
Ambien 製品群 (マイスリー)	94	-10.3%	-25.4%	11	-8.3%	20	-16.7%	16	0.0%	47	-11.0%
Depakine	102	1.9%	-2.9%	35	-2.8%	0	-	63	4.6%	4	0.0%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc-One	90	9.0%	1.1%	6	50.0%	72	2.7%	10	66.7%	2	0.0%
Tritace	75	-4.8%	-9.6%	34	-2.9%	0	-	38	-2.3%	3	-50.0%
Multaq	67	7.7%	3.1%	10	-8.3%	53	11.8%	2	0.0%	2	-
Lasix (ラシックス)	43	-3.9%	-15.7%	19	0.0%	1	-	11	-17.6%	12	0.0%
Targocid (タゴシッド)	37	-18.4%	-24.5%	17	-15.0%	0	-	17	-20.8%	3	-20.0%
Orudis	36	-15.7%	-29.4%	5	-66.7%	0	-	31	8.6%	0	-100.0%
Cordarone (アンカロン)	33	-5.0%	-17.5%	6	-14.3%	0	-	16	-5.3%	11	0.0%
Xatral	26	-18.8%	-18.8%	10	0.0%	1	-80.0%	14	-5.9%	1	-
Actonel	23	-18.8%	-28.1%	6	-25.0%	0	-	11	-25.0%	6	0.0%
その他の処方薬	1,044	-2.1%	-9.2%	394	-8.3%	146	9.1%	389	4.1%	115	-11.5%
<b>その他の処方薬計</b>	<b>2,962</b>	<b>-4.3%</b>	<b>-12.5%</b>	<b>936</b>	<b>-10.3%</b>	<b>466</b>	<b>2.5%</b>	<b>1,062</b>	<b>-0.8%</b>	<b>498</b>	<b>-5.8%</b>
コンシューマー・ヘルスケア	742	9.8%	1.2%	156	4.0%	153	16.4%	374	11.5%	59	0.0%
ジェネリック医薬品	424	-5.4%	-11.5%	128	-5.8%	37	-42.9%	247	2.3%	12	66.7%
<b>医薬品</b>	<b>6,674</b>	<b>2.7%</b>	<b>-5.2%</b>	<b>1,714</b>	<b>-4.9%</b>	<b>1,986</b>	<b>12.3%</b>	<b>2,197</b>	<b>3.1%</b>	<b>777</b>	<b>-2.2%</b>
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) ワクチン	244	-17.2%	-23.8%	8	-42.9%	50	-24.6%	155	17.3%	31	-57.1%
インフルエンザワクチン	559	-3.9%	-8.1%	77	4.1%	402	-0.9%	76	-22.5%	4	0.0%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎ワクチン	211	-3.5%	-8.3%	1	-50.0%	179	-4.1%	29	11.1%	2	-50.0%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	84	-36.4%	-40.0%	13	-7.1%	56	-46.8%	12	30.0%	3	-20.0%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	101	31.3%	21.7%	4	33.3%	38	166.7%	48	-3.7%	11	18.2%
その他のワクチン	101	6.0%	1.0%	2	0.0%	94	13.6%	1	-100.0%	4	-33.3%
<b>ワクチン</b>	<b>1,300</b>	<b>-7.2%</b>	<b>-12.2%</b>	<b>105</b>	<b>-3.7%</b>	<b>819</b>	<b>-4.8%</b>	<b>321</b>	<b>0.3%</b>	<b>55</b>	<b>-46.1%</b>
フィブロンル製品	151	-10.1%	-15.2%	41	-2.4%	73	-19.8%	25	7.7%	12	0.0%
ワクチン	160	-1.7%	-7.0%	38	-7.1%	36	-5.0%	82	3.5%	4	-20.0%
アベルメクチン製品	90	-11.9%	-17.4%	12	8.3%	48	-16.7%	14	-15.8%	16	-5.6%
その他	57	1.7%	-5.0%	20	-13.6%	20	-4.3%	13	40.0%	4	20.0%
<b>動物用医薬品</b>	<b>458</b>	<b>-6.4%</b>	<b>-11.8%</b>	<b>111</b>	<b>-5.1%</b>	<b>177</b>	<b>-14.6%</b>	<b>134</b>	<b>4.3%</b>	<b>36</b>	<b>-2.4%</b>
<b>グループ合計</b>	<b>8,432</b>	<b>0.6%</b>	<b>-6.7%</b>	<b>1,930</b>	<b>-4.8%</b>	<b>2,982</b>	<b>5.2%</b>	<b>2,652</b>	<b>2.8%</b>	<b>868</b>	<b>-7.0%</b>

2013年度年初から9カ月の純売上高 (単位: 100万ユーロ)				合計	% CER	調整前	西欧諸国	% CER	米国	% CER	新興市場	% CER	その他	% CER
Lantus (ランタス)	4,203	20.0%	15.9%	600	4.1%	2,750	26.1%	640	15.1%	213	12.8%			
Apidra (アピドラ)	207	30.9%	25.5%	61	3.4%	78	63.3%	46	32.4%	22	30.0%			
Amaryl (アマリール)	284	-1.9%	-11.0%	17	-22.7%	1	-66.7%	203	9.6%	63	-18.8%			
Insuman	99	1.0%	0.0%	67	-8.2%	1	0.0%	31	23.1%	0	-100.0%			
<b>糖尿病</b>	<b>4,833</b>	<b>18.6%</b>	<b>14.2%</b>	<b>781</b>	<b>4.0%</b>	<b>2,830</b>	<b>26.6%</b>	<b>921</b>	<b>14.9%</b>	<b>301</b>	<b>6.0%</b>			
Taxotere (タキソテール)	306	-23.3%	-30.1%	19	-56.8%	33	-27.7%	156	-23.1%	98	-11.5%			
Jevtana	165	-2.9%	-5.7%	76	18.5%	63	-24.4%	22	4.3%	4	300.0%			
Eloxatin	169	-80.4%	-81.0%	5	-54.5%	16	-97.7%	97	-16.1%	51	1.9%			
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	148	9.2%	5.0%	23	4.5%	76	5.4%	40	24.2%	9	0.0%			
Zaltrap	38	457.1%	442.9%	9	-	28	383.3%	1	-	0	-100.0%			
Mozobil	76	9.9%	7.0%	24	9.1%	42	4.9%	8	60.0%	2	0.0%			
その他のオンコロジー製品	189	-23.7%	-26.5%	41	-32.8%	113	-21.8%	22	-33.3%	13	12.5%			
<b>オンコロジー</b>	<b>1,091</b>	<b>-42.0%</b>	<b>-44.8%</b>	<b>197</b>	<b>-12.0%</b>	<b>371</b>	<b>-65.7%</b>	<b>346</b>	<b>-15.5%</b>	<b>177</b>	<b>-4.9%</b>			
Aubagio	97	-	-	0	-	97	-	1	-	-1	-			
Cerezyme (セラゼイム)	507	14.3%	9.7%	165	3.8%	134	10.5%	174	42.3%	34	-16.7%			
Myozyme (マイオザイム)	369	11.4%	8.2%	203	7.9%	92	8.0%	53	40.0%	21	4.2%			
Fabrazyme (ファブラザイム)	279	40.9%	34.1%	61	77.1%	147	42.5%	36	15.2%	35	23.5%			
Aldurazyme (アウドラザイム)	116	11.0%	6.4%	44	0.0%	21	15.8%	39	28.1%	12	0.0%			
その他の希少疾患製品	179	4.9%	-2.7%	30	20.0%	73	0.0%	28	3.7%	48	5.3%			
<b>ジェンザイム</b>	<b>1,547</b>	<b>23.9%</b>	<b>18.6%</b>	<b>503</b>	<b>11.7%</b>	<b>564</b>	<b>40.8%</b>	<b>331</b>	<b>33.2%</b>	<b>149</b>	<b>2.3%</b>			
Plavix (プラビックス)	1,366	-2.6%	-12.6%	197	-19.2%	5*	-93.4%	594	1.3%	570	11.0%			
Lovenox	1,265	-10.6%	-12.9%	636	-0.9%	136	-47.0%	421	-4.7%	72	-2.6%			
Aprovel	689	-24.7%	-26.6%	271	-43.8%	10	-70.3%	308	7.4%	100	-14.0%			
Renagel (レナジェル) および Renvela	533	15.3%	12.0%	100	6.3%	368	15.5%	50	43.2%	15	0.0%			
Allegra (アレグラ)	319	-9.8%	-23.7%	8	-20.0%	-2	100.0%	90	9.9%	223	-14.8%			
Ambien 製品群 (マイスリー)	287	-13.4%	-24.5%	32	-11.1%	59	-6.3%	50	0.0%	146	-18.9%			
Depakine	311	4.6%	1.3%	102	-3.7%	0	-	198	9.6%	11	0.0%			
Synvisc (サイビスク) / Synvisc-One	272	3.3%	-0.4%	18	28.6%	217	-1.3%	25	47.1%	12	0.0%			
Tritace	233	-8.4%	-11.4%	103	-10.4%	0	-	122	-5.1%	8	-27.3%			
Multaq	198	5.7%	3.1%	31	-8.6%	159	9.3%	6	0.0%	2	0.0%			
Lasix (ラシックス)	126	-11.0%	-18.7%	56	-8.2%	2	0.0%	36	-13.0%	32	-13.0%			
Targocid (タゴシッド)	125	-14.3%	-18.8%	60	-10.4%	0	-	56	-15.5%	9	-25.0%			
Orudis	109	-12.6%	-23.8%	18	-55.0%	0	-	89	4.0%	2	0.0%			
Cordarone (アンカロン)	105	-4.9%	-13.9%	19	-13.6%	0	-	55	1.8%	31	-9.3%			
Xatral	77	-22.8%	-23.8%	29	-17.1%	3	-82.4%	43	-4.3%	2	-50.0%			
Actonel	75	-23.1%	-27.9%	17	-34.6%	0	-	36	-26.9%	22	-3.8%			
その他の処方薬	3,206	-7.9%	-12.1%	1,229	-15.8%	417	-1.8%	1,205	-0.1%	355	-10.7%			
<b>その他の処方薬計</b>	<b>9,296</b>	<b>-7.8%</b>	<b>-13.0%</b>	<b>2,926</b>	<b>-16.1%</b>	<b>1,374</b>	<b>-11.6%</b>	<b>3,384</b>	<b>0.6%</b>	<b>1,612</b>	<b>-5.3%</b>			
<b>コンシューマー・ヘルスケア</b>	<b>2,282</b>	<b>4.8%</b>	<b>0.3%</b>	<b>517</b>	<b>2.4%</b>	<b>481</b>	<b>2.9%</b>	<b>1,094</b>	<b>6.3%</b>	<b>190</b>	<b>7.8%</b>			
<b>ジェネリック医薬品</b>	<b>1,147</b>	<b>-14.9%</b>	<b>-17.2%</b>	<b>409</b>	<b>14.1%</b>	<b>144</b>	<b>-29.9%</b>	<b>567</b>	<b>-25.5%</b>	<b>27</b>	<b>36.4%</b>			
<b>医薬品</b>	<b>20,196</b>	<b>-3.0%</b>	<b>-7.6%</b>	<b>5,333</b>	<b>-7.7%</b>	<b>5,764</b>	<b>-3.0%</b>	<b>6,643</b>	<b>0.5%</b>	<b>2,456</b>	<b>-2.4%</b>			
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) ワクチン	807	2.1%	-3.7%	25	-37.5%	173	-36.2%	467	33.1%	142	9.4%			
インフルエンザワクチン	731	-2.4%	-5.9%	78	5.4%	412	0.0%	223	-9.9%	18	11.8%			
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎ワクチン	414	-0.7%	-4.2%	4	0.0%	300	-6.0%	105	20.2%	5	-16.7%			
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	293	-19.3%	-21.4%	52	8.3%	198	-26.4%	33	6.3%	10	-31.3%			
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチン	273	9.6%	5.0%	12	-20.0%	78	19.1%	145	4.9%	38	24.2%			
その他のワクチン	239	22.9%	18.9%	2	-71.4%	222	37.1%	7	-38.5%	8	-42.9%			
<b>ワクチン</b>	<b>2,757</b>	<b>-0.2%</b>	<b>-4.3%</b>	<b>173</b>	<b>-8.0%</b>	<b>1,383</b>	<b>-7.6%</b>	<b>980</b>	<b>13.0%</b>	<b>221</b>	<b>5.3%</b>			
フィブロニル製品	515	-17.6%	-20.3%	152	-15.0%	262	-25.1%	72	11.6%	29	-12.8%			
ワクチン	521	3.5%	0.8%	129	0.0%	112	3.6%	267	5.7%	13	-6.7%			
アベルメクチン製品	335	4.5%	1.5%	40	-2.4%	197	8.6%	42	-4.3%	56	3.6%			
その他	170	-1.7%	-5.6%	61	-4.7%	61	-10.0%	36	33.3%	12	-18.8%			
<b>動物用医薬品</b>	<b>1,541</b>	<b>-5.0%</b>	<b>-7.9%</b>	<b>382</b>	<b>-7.5%</b>	<b>632</b>	<b>-10.6%</b>	<b>417</b>	<b>7.6%</b>	<b>110</b>	<b>-5.6%</b>			
<b>グループ合計</b>	<b>24,494</b>	<b>-2.8%</b>	<b>-7.3%</b>	<b>5,888</b>	<b>-7.6%</b>	<b>7,779</b>	<b>-4.5%</b>	<b>8,040</b>	<b>2.2%</b>	<b>2,787</b>	<b>-1.9%</b>			

\* BMS 社が管理する米国法人に対する有効成分の販売



付録 2 : 損益計算書

2013 年度第 3 四半期 (単位 : 100 万ユーロ)	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	Q3 2013	Q3 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	Q3 2013	Q3 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	Q3 2013	Q3 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	Q3 2013	Q3 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	Q3 2013	Q3 2012 <sup>(1)</sup>
純売上高	8,432	9,040	(6.7%)	6,674	7,040	(5.2%)	1,300	1,481	(12.2%)	458	519	(11.8%)		
その他収益	86	200	(57.0%)	69	184	(62.5%)	9	7	28.6%	8	9	(11.1%)		
売上原価	(2,873)	(2,877)	(0.1%)	(2,136)	(2,130)	0.3%	(580)	(577)	0.5%	(157)	(170)	(7.6%)		
純売上高に占める割合	(34.1%)	(31.8%)		(32.0%)	(30.3%)		(44.6%)	(39.0%)		(34.2%)	(32.7%)			
売上総利益	5,645	6,363	(11.3%)	4,607	5,094	(9.6%)	729	911	(20.0%)	309	358	(13.7%)		
純売上高に占める割合	66.9%	70.4%		69.0%	72.4%		56.1%	61.5%		67.5%	69.0%			
研究開発費	(1,183)	(1,144)	3.4%	(1,012)	(1,011)	0.1%	(133)	(97)	37.1%	(38)	(36)	5.6%		
純売上高に占める割合	(14.0%)	(12.7%)		(15.2%)	(14.4%)		(10.2%)	(6.5%)		(8.3%)	(6.9%)			
販売費および一般管理費	(2,016)	(2,176)	(7.4%)	(1,708)	(1,867)	(8.5%)	(156)	(153)	2.0%	(152)	(156)	(2.6%)		
純売上高に占める割合	(23.9%)	(24.1%)		(25.6%)	(26.5%)		(12.0%)	(10.3%)		(33.2%)	(30.1%)			
その他の当期営業損益	28	76		32	64					(1)	7		(3)	5
関連会社*および合弁会社持分利益	38	6		3	10		36	(4)		(1)				
非支配株主純利益	(36)	(39)		(37)	(39)		1							
事業営業利益	2,476	3,086	(19.8%)	1,885	2,251	(16.3%)	477	657	(27.4%)	117	173	(32.4%)	(3)	5
純売上高に占める割合	29.4%	34.1%		28.2%	32.0%		36.7%	44.4%		25.5%	33.3%			
財務収益 (費用)	(123)	(135)												
法人税	(564)	(750)												
法人税率**	24.0%	25.1%												
事業純利益	1,789	2,201	(18.7%)											
純売上高に占める割合	21.2%	24.3%												
1 株当たり事業純利益*** (単位 : ユーロ)	1.35	1.67	(19.2%)											

\* 税控除後

\*\* 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基ついて算出

\*\*\* 2013 年度第 3 四半期の 13 億 2,350 万株、前年同期の 13 億 1,840 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

<sup>(1)</sup> IAS19R への移行の影響を含む

2013年度 年初から9カ月間	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	(単位：100万ユーロ)	9M 2013	9M 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	9M 2013	9M 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	9M 2013	9M 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	9M 2013	9M 2012 <sup>(1)</sup>	前年度比	9M 2013
純売上高	24,494	26,421	(7.3%)	20,196	21,867	(7.6%)	2,757	2,881	(4.3%)	1,541	1,673	(7.9%)		
その他収益	267	873	(69.4%)	224	829	(73.0%)	21	17	23.5%	22	27	(18.5%)		
売上原価	(8,081)	(8,210)	(1.6%)	(6,303)	(6,554)	(3.8%)	(1,275)	(1,140)	11.8%	(503)	(516)	(2.5%)		
純売上高に占める割合	(33.0%)	(31.1%)		(31.2%)	(30.0%)		(46.3%)	(39.6%)		(32.6%)	(30.8%)			
売上総利益	16,680	19,084	(12.6%)	14,117	16,142	(12.5%)	1,503	1,758	(14.5%)	1,060	1,184	(10.5%)		
純売上高に占める割合	68.1%	72.2%		69.9%	73.8%		54.5%	61.0%		68.8%	70.8%			
研究開発費	(3,524)	(3,551)	(0.8%)	(3,019)	(3,055)	(1.2%)	(382)	(380)	0.5%	(123)	(116)	6.0%		
純売上高に占める割合	(14.4%)	(13.4%)		(14.9%)	(14.0%)		(13.9%)	(13.2%)		(8.0%)	(6.9%)			
販売費および一般管理費	(6,454)	(6,577)	(1.9%)	(5,504)	(5,622)	(2.1%)	(455)	(440)	3.4%	(495)	(514)	(3.7%)		(1)
純売上高に占める割合	(26.3%)	(24.9%)		(27.3%)	(25.7%)		(16.5%)	(15.3%)		(32.1%)	(30.7%)			
その他の当期営業損益	198	92		163	63		7	(2)		(3)	8		31	23
関連会社*および合弁会社持分利益	59	425		30	435		32	(10)		(3)				
非支配株主純利益	(122)	(143)		(123)	(143)		1							
事業営業利益	6,837	9,330	(26.7%)	5,664	7,820	(27.6%)	706	926	(23.8%)	436	562	(22.4%)	31	22
純売上高に占める割合	27.9%	35.3%		28.0%	35.8%		25.6%	32.1%		28.3%	33.6%			
財務収益（費用）	(400)	(460)												
法人税	(1,560)	(2,319)												
法人税率**	24.0%	27.0%												
事業純利益	4,877	6,551	(25.6%)											
純売上高に占める割合	19.9%	24.8%												
1株当たり事業純利益*** (単位：ユーロ)	3.68	4.97	(26.0%)											

\* 税控除後

\*\* 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

\*\*\* 2013年度年初から9カ月間の13億2,380万株、前年同期の13億1,900万株という期中平均発行済み株式数に基づく

<sup>(1)</sup> IAS19Rへの移行の影響を含む

### 付録 3 : 事業純利益から当社株主に帰属する純利益への調整

(単位 : 100 万ユーロ)	2013 年度 第 3 四半期	2012 年度 第 3 四半期 <sup>(3)</sup>	前年度比
事業純利益	1,789	2,201	(18.7%)
無形固定資産の償却 <sup>(1)</sup>	(689)	(816)	
無形固定資産の減損	(28)	12	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(68)	(86)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	(1)	(3)	
事業再編費用	(71)	(57)	
上記項目の税効果 :	289	294	
無形固定資産の償却	233	277	
無形固定資産の減損	9	(4)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	23	3	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	-	1	
事業再編費用	24	17	
その他の税目	-	-	
上記の非支配株主帰属分	1	1	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社 に対する買収の影響から生じる費用	(9)	(7)	
当社株主に帰属する純利益	1,213	1,539	(21.2%)
連結 1 株当たり純利益 <sup>(2)</sup> (単位 : ユーロ)	0.92	1.17	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2013 年度第 3 四半期は 6 億 5,800 万ユーロ、前年同期は 7 億 8,700 万ユーロとなった

(2) 2013 年度第 3 四半期の 13 億 2,350 万株、前年同期の 13 億 1,840 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(3) IAS19R への移行の影響

事業純利益から連結純利益への調整については、13 ページを参照

(単位：100万ユーロ)	2013年度 年初から 9カ月間	2012年度 年初から 9カ月間 <sup>(4)</sup>	前年度比
事業純利益	4,877	6,551	(25.6%)
無形固定資産の償却 <sup>(1)</sup>	(2,232)	(2,491)	
無形固定資産の減損	(468)	(28)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(185)	(192)	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	(7)	(20)	
事業再編費用	(230)	(307)	
上記項目の税効果：	1,038	1,008	
無形固定資産の償却	723	892	
無形固定資産の減損	189	10	
偶発対価債務の公正価値での再評価	43	6	
在庫に対する買収の影響から生じる費用	2	6	
事業再編費用	81	94	
その他の税目 <sup>(2)</sup>	(109)	-	
上記の非支配株主帰属分	3	2	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社 に対する買収の影響から生じる費用	(26)	(22)	
当社株主に帰属する純利益	2,661	4,501	(40.9%)
<b>連結1株当たり純利益<sup>(3)</sup> (単位：ユーロ)</b>	<b>2.01</b>	<b>3.41</b>	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2013年度年初から9カ月間は21億4,700万ユーロ、前年同期は23億8,900万ユーロとなった

(2) 当社株主に支払った配当に対する課税

(3) 2012年度年初から9カ月間の13億2,380万株、前年同期の13億1,900万株という期中平均発行済み株式数に基づく

(4) IAS19Rへの移行の影響を含む

## 付録 4 : 連結損益計算書

(単位 : 100 万ユーロ)	2013 年度 第 3 四半期	2012 年度 第 3 四半期 <sup>(1)</sup>	2013 年度 年初から 9 カ月間	2012 年度 年初から 9 カ月間 <sup>(1)</sup>
純売上高	8,432	9,040	24,494	26,421
その他収益	86	200	267	873
売上原価	(2,874)	(2,880)	(8,088)	(8,230)
売上総利益	5,644	6,360	16,673	19,064
研究開発費	(1,183)	(1,144)	(3,524)	(3,551)
販売費および一般管理費	(2,016)	(2,176)	(6,454)	(6,577)
その他の当期営業収益	56	117	403	436
その他の当期営業費用	(28)	(41)	(205)	(344)
無形固定資産の償却	(689)	(816)	(2,232)	(2,491)
無形固定資産の減損	(28)	12	(468)	(28)
偶発対価債務の公正価値での再評価	(68)	(86)	(185)	(192)
事業再編費用	(71)	(57)	(230)	(307)
その他の損益および訴訟費用	-	-	-	-
営業利益	1,617	2,169	3,778	6,010
財務費用	(147)	(186)	(458)	(556)
財務収益	24	51	58	96
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,494	2,034	3,378	5,550
法人税 <sup>(2)</sup>	(275)	(456)	(631)	(1,311)
関連会社および合弁会社持分利益	29	(1)	33	403
純利益	1,248	1,577	2,780	4,642
非支配持分純利益	35	38	119	141
当社株主に帰属する純利益	1,213	1,539	2,661	4,501
期中平均発行済み株式数 (単位 : 100 万株)	1,323.5	1,318.4	1,323.8	1,319.0
<b>1 株当たり純利益 (単位 : ユーロ)</b>	<b>0.92</b>	<b>1.17</b>	<b>2.01</b>	<b>3.41</b>

(1) IAS19R への移行の影響を含む

(2) 2013 年度には、当社株主に支払った配当に対する課税を含め、1 億 900 万ユーロとなった

付録 5: 研究開発パイプライン

申請中

<b>Lemtrada™</b> (一般名: alemtuzumab) 抗 CD52 モノクローナル抗体 多発性硬化症、米国	<b>eliglustat tartrate</b> グルコシルセラミド合成阻害剤 ゴーシェ病、EU	<b>VaxiGrip® QIV IM</b> 4 価不活化 インフルエンザワクチン
--	--	--

第 III 相

<b>U300</b> インスリン グラルギン 1 型・2 型糖尿病	<b>eliglustat tartrate</b> グルコシルセラミド合成阻害剤 ゴーシェ病、米国	<b>デング熱</b> 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン
<b>Lyxumia®</b> (リクスマリア) (一般名: リキシセナチド) GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病、米国	<b>fedratinib</b> JAK2 阻害剤 骨髄線維症 (一次療法)	<b>クロストリジウム・ディフィシル</b> トキシノイドワクチン
<b>alirocumab</b> 抗 PCSK-9 モノクローナル抗体 高コレステロール血症	<b>Jevtana®</b> (一般名: cabazitaxel) 転移性前立腺がん (一次療法)	<b>DTP-HepB-Polio-Hib (PR5I)</b> (ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン
<b>Kynamro™</b> (一般名: mipomersen) アポリポタンパク B-100 アンチセンス 重度の HeFH、米国	<b>SYNVISC-ONE®</b> 医療機器 変形性関節炎による腰痛	<b>Fluzone® QIV ID</b> 4 価不活化 インフルエンザワクチン皮内接種
<b>sarilumab</b> 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ	<b>MACI®</b> 細胞ベースの治療薬 大腿頸部軟骨欠損	<b>Quadracel®</b> ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオワクチン 4~6 歳用











第 II 相

<b>LixiLan</b> リキシセナチド + インスリン グラルギン 固定比率合剤/2 型糖尿病	<b>SAR3419</b> メイタンシン搭載抗 CD19 モノクローナル抗体 B 細胞性悪性腫瘍、難治性/再発性 (非ホジキンリンパ腫 (NHL)、急性リンパ性白血病 (ALL))	<b>fresolimumab</b> TGFβ 拮抗剤 巣状分節性糸球体硬化症
<b>dupilumab</b> 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 喘息、アトピー性皮膚炎、鼻ポリープ	<b>SAR256212 (MM121)</b> 抗 ErbB3 モノクローナル抗体 乳がん (二次療法、三次療法)	<b>SAR279356 (F598)</b> 抗 PNAG モノクローナル抗体 重篤な感染症
<b>SAR339658</b> 抗 VLA 2 モノクローナル抗体 炎症性腸疾患	併用療法 <b>SAR245409 (XL765) / MSC1936369B</b> PI3K および mTOR を阻害する経口二重阻害剤 / pimasertib 卵巣がん	<b>ferroquine</b> 抗マラリア薬 マラリア
<b>SAR156597</b> IL4/IL13 モノクローナル抗体 特発性肺線維症 (IPF)	<b>fedratinib</b> JAK-2 阻害剤 Ruxolitinib 抵抗性/不耐容の骨髄線維症 (MF)	<b>髄膜炎菌 (4 価 ACYW) 結合型ワクチン</b> 第 2 世代の髄膜炎菌結合型 小児用ワクチン
<b>SAR100842</b> LPA-1 受容体拮抗剤 全身性硬化症	<b>sarilumab</b> 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎	<b>狂犬病 VRVg</b> 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン
<b>GENZ438027 (ALN-TTR02)</b> mRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー	<b>SAR292833 (GRC15300)</b> TRPV3 拮抗剤 慢性疼痛	<b>ロタウイルス</b> 経口弱毒化 4 価生ロタウイルスワクチン

# 第 I 相

<b>SAR153192</b> 抗 DLL4 モノクローナル抗体 固形がん	N	<b>GZ404477</b> (AAV-hAADC) 遺伝子療法 パーキンソン病	N	<b>GZ402665</b> (rhASM) ニーマンピック病 B 型	N
<b>SAR405838 (MI-773)</b> HDM2 / p53 作動薬 固形がん	N	<b>SAR391786</b> GDF8 モノクローナル抗体 サルコペニア	N	<b>GZ402671</b> 経口 GCS 阻害剤 ファブリー病	N
<b>SAR650984</b> 抗 CD38 モノクローナル抗体 血液がん	N	<b>SAR228810</b> 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病	N	<b>GZ402666</b> ネオ GAA ボンペ病	N
<b>SAR566658</b> メイタシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん	N	<b>SAR252067</b> 抗 LIGHT モノクローナル抗体 クローン病	N	<b>SAR438151</b> ターゲット未開示	N
<b>SAR125844</b> C-MET キナーゼ阻害剤 固形がん	N	<b>SAR113244</b> 抗 CXCR5 モノクローナル抗体 全身性エリテマトーデス (SLE)	N	<b>肺炎レンサ球菌</b> 髄膜炎・肺炎ワクチン	
<b>SAR307746</b> 抗 ANG2 モノクローナル抗体 固形がん	N	<b>RetinoStat<sup>®</sup></b> 遺伝子療法 滲出型加齢黄斑変性症 (AMD)	N	<b>緑膿菌</b> 抗体フラグメント製品 人工呼吸器関連肺炎の予防	
<b>SAR260301</b> PI3K β 選択的阻害剤 PTEN 欠損がん	N	<b>StarGen<sup>®</sup></b> 遺伝子療法 シュタルガルト病	N	<b>結核</b> 遺伝子組換えサブユニットワクチン	
<b>SAR245408 (XL147)</b> 経口 PI3K 阻害剤 固形がん	N	<b>GZ402663 (sFLT-01)</b> 遺伝子療法 加齢黄斑変性症 (AMD)	N	<b>単純ヘルペスウイルス 2 型</b> HSV-2 ワクチン	
併用療法 <b>SAR245409 / MSC1936369B</b> 固形がん		<b>UshStat<sup>®</sup></b> 遺伝子療法 アッシュヤー症候群 1B	N		
<b>インスリン バイオシミラー・プログラム</b> 糖尿病					

N : 新規分子化合物

	オンコロジー		免疫介在性疾患		ワクチン
	糖尿病治療		感染症		眼科領域
	希少疾患		心血管疾患および腎疾患		加齢性変性疾患
	バイオサージェリー				

## 付録 6: GAAP (一般会計原則) と異なる財務指標の定義

### 純売上高 (為替レート変動の影響を除く)

「純売上高 (為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、以前の期間に使用された為替レートで該当期間の売上高を再計算することによって、排除されます。

### 2013 年度第 3 四半期および 2013 年度年初から 9 カ月の純売上高 (調整前) から純売上高 (為替レート変動の影響を除く) への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2013 年度 第 3 四半期	2013 年度 年初から 9 カ月間
純売上高	8,432	24,494
為替レートの影響	662	1,179
純売上高 (為替レート変動の影響を除く)	9,094	25,673

### 純売上高 (グループ構成の変動要因を除く)

以下のとおり、前期の純売上高を修正することにより、グループ構成の変動の影響が排除されます。

- 買収の影響は、買収の対象となった企業から提供された売上高に関する情報に基づき、現在の期間 (企業または製品の権利が取得された期間) に相当する、買収された企業または製品の前期部分の売上高を含めることによって、排除されます。
- 同様に、企業または製品の権利を売却した場合には、該当する前年同期部分の売上高が排除されます。
- 連結方式の変更については、現在の期間に使用された方式に基づいて、前期部分が再計算されます。

### 事業純利益

サノフィは、GAAP (一般会計原則) と異なる主要指標を発表します。この「事業純利益」という指標は「特別項目を除いた調整後純利益」を置き換えるものです。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響 (関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用<sup>(1)</sup>
- その他の損益 (非流動資産の売却損益<sup>(1)</sup>を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金<sup>(1)</sup>
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税 (3%)

(1) 連結損益計算書の Note B.20. で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。



## サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において 7 つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィはパリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。

## 今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2012 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。